

MIW通信 44

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。MIはman（男性）、WIはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

2019



◇スポーツで輝く選手にきく…p2

唐司あみさん

最後の1球まで全力で！

◇特集 1

若者たちと行く
「女性活躍とWLBの現場」…p4

◇特集 2

パパたちの子育て in ちよだ…p8



唐司あみさん（ポッチャ選手）とお母様。
東京2020パラリンピックに向けたイ
ベント「パラスポーツちよだ2018」で。
（平成30年12月8日、千代田区立ス
ポーツセンター）

とうのし 唐司あみさん (ボッチャ選手)

最近話題のボッチャ。東京2020パラリンピックの正式種目になっただけでなく、企業や市民の間でもボッチャの人気が上昇中。今回は、16歳の若さで活躍するボッチャ選手・唐司あみさんに伺いました。



昨年12月8日(土)に実施された「パラスポーツよだ2018」の会場でボッチャのボールを投げる唐司さん

スポーツで輝く選手にきく

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

最後の1球まで全力で！



唐司(とうのし)あみさん

ボッチャ選手。東京都立府中けやきの森学園高等部2年。平成30年度のボッチャ甲子園でチーム優勝。英国・リバプールでのボッチャ世界選手権の日本代表に選出。ボッチャは2年前から始めた。BC4(上肢障害があり投球ができるクラス)で出場。AKB48に夢中。

― 昨年8月に、ボッチャ世界選手

権に最年少で参加されました。世界の舞台で活躍されたご感想から聞かせてください。

自分が世界大会に出られるとは思っていなかったもので、初めてで緊張しました。世界の舞台で、これまで憧れていた先輩選手と一緒に参加でき感激しました。

― 昨年の「ボッチャ甲子園」(高校生全国大会)でも、最終第2エンドの唐司さんの一投で逆転優勝されましたね。

自信がなくて、冷や汗が出ました。ジャックボール(目標球)に寄ればいいなと思って投げただけです。チームメイトとのこれまでの積み重ねが表れたのだと思います。

ボッチャはマイボールを使い、戦略を立てる奥深いスポーツ

― 最近人気急上昇中のボッチャの

魅力を教えてください。

個人やチームが、ジャックボールにどれだけ近くボールを投げられるかという簡単なルールの競技ですが、どのようなボールを使って投げるか、どのような戦略を使うか等、とても奥深い競技です。

― 選手全員が同じボールを使っているのではないのですか？

使うボールは選手それぞれ違います。ひとつの重さは275グラム±12グラムですが、その範囲であれば、自分に合ったボールが使えます。私は表面が革で中に砂を入れたものを使っています。私は腕の力が弱いのので、あまり弾まず安定する革のボールが合っています。競技では6つのボールを使いますが、それぞれ重さや革の強さは違います。人によっては、表面にゴムを使った重たいボールを使い、



唐司さんのマイボール。表面は革で中に砂が入っています



唐司さんの車椅子に付けられたボールを置く台

ボッチャとは

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げ、いかに近づけるかを競うスポーツ。相手のボールを弾いて、自分が優位に立てるよう位置取りをする。1984(昭和59)年からパラリンピックの正式競技。男女の区別はなく、重度の脳性麻痺や四肢機能障害など障害の程度によってクラス分けをして順位を競う。

相手のボールに投げつけて弾き、位置取りをする人もいます。

競技では、一人もしくはチームで6投します。競技の前には、相手が使うボールにも触れられません。前もって相手方のボールの種類を知ること、戦略を立てられます。

―選手一人ひとりのボールが違うのですね。初めて知りました。

私は競技中に車椅子を使ってるので、ボールを置く台を通っている学校の人達が作ってくれました。

ボッチャを始めてまだ2年

―どれぐらいボッチャをされているのか?

やり始めて2年半しかたって

いません。リオデジャネイロのパラリンピックを見て、やってみたいと思ったのがきっかけです。

―たった2年(取材時)で世界大会出場とはすごいですね。

母は私にボッチャをさせたがっついていましたが、それまでは、体を動かしたりスポーツをすることが好きではなく、興味はありませんでした。当時は、自分が障害者枠でボッチャ競技に参加できるとも思っていないので、私にボッチャ協会の方で、私が障害者枠で参加できるのでやってみたらと言ってくれたことがきっかけで始めました。やり始めたなら、単純なスポーツだけと奥が深くて面白く、のめり込んでしまいました。

―普段はどのぐらい練習をされているのですか?

学校の授業を受けた後に、平日学校で2時間ぐらい、家に帰ってから1時間ぐらい、ピングで練習しています。

―家族や周りの方の支えもあるのでしょうか。

家族の支えが大きいです。今

日も母が付き添ってくれています。父はボッチャの審判の資格をとって支えてくれています。

―これからの目標は?

最後の1球まで全力で投げたいです。できたら、東京パラリンピックに出場して活躍したいと思っています。



「バラスポーツちよだ 2018」で唐司さんと一緒に、ボッチャを体験する麹町小学校4年生の皆さん。投げたボールがジャックボールに近づく、大きな歓声が上がっていました

若者キャリア支援にも力を入れている MIW では、今回、学生とともに女性活躍や仕事と家庭の両立（WLB）で東京都の賞を受賞している2つの企業を訪問しました。法政大学キャリアデザイン学部の学生と同学部の武石恵美子先生に同行頂き、企業のリアルな先進取組に触れ、これからの生き方・働き方を考えました。

株式会社クレストコンサルティング



クレストコンサルティングの社員からお話を伺う学生たち

在宅勤務や
ITを駆使した
情報共有で
残業激減

各種マニュアルの作成・コンサルティングの会社、(株)クレストコンサルティングの会社、いきいきと働き続けられる職場の実現に向けた取組を実施していることにより、平成29年度東京ライフ・ワーク・バランス認定企業大賞*を受賞しました。WLB推進に取組むことで、残業時間を約3分の1にしています。

「WLBに取組む前は、月60時間以上の残業もありました。現在は、ITを駆使したテレワークの実施、残業の事前申請制、付加価値の高いコンサルティングを重視する業務への変更で収益が改善し、労働時間が

短縮、無理なスケジュールの事は請け負わないなど、新たな制度・事業展開により、社員の残業時間が大幅に減りました。現在では繁忙期を除き10時間以上残業する社員はほぼいません」と話します(吉川さん)。

子どもが小3まで時短勤務可能

女性活躍推進にも力を入れています。法定産休・育休に加え、子どもを産み育てながら働きやすいように、男女ともに子どもが小学校3年生になるまでの時短勤務が可能となっています。また、Web上でつながるグループウェアを導入し、自宅でも仕事ができ、スケジュール管

残業時間は3分の1に

平成29年度
東京ライフ・ワーク・バランス認定企業大賞受賞

株式会社クレストコンサルティング

多方面にわたって総合的に
ライフ・ワーク・バランスを推進

◇事業内容

各種マニュアル作成、マニュアルコンサルティング

◇取組

- 残業の事前申請制の徹底
- テレワークや時差出勤（最大前倒し2時間、後倒し1時間）による柔軟な働き方
- 育児・介護に関する社内研修を実施する等の両立支援策
- 子どもが小学校3年まで時短勤務期間を延長

◇効果

- 年間の残業が約3分の1に削減

*長時間労働の削減、育児・介護と仕事の両立推進など、いきいきと働き続けられる職場の取組をしている中小企業に授与される東京都（産業労働局）の賞。



武石恵美子さん
 (法政大学キャリアデザイン学部教授)
 専門は、人的資源管理論、女性労働論。大学の「キャリアデザイン学」のゼミ生と共に2企業の取材に同行頂きました。

** 中小企業では「能力」を評価しキャリア構築に支障が少ない、職住近接の職場環境、柔軟な対応ができるなどWLBを推進しやすいと主張。調査は『平成18年版 中小企業白書』所収。

若手社員は、「以前働いていたマニユアル制作会社では夜中の12時までの勤務もあったが、ここでは残業時間が少なく自分の時間が有効に使える。管理職が社員の意見を親身になって聴

働く時間が減って プライベートが充実

理を可能にして子育て中でも仕事がしやすい環境を整備しました。



星めぐみさん
 企画管理部チームリーダー



吉川陽子さん
 取締役企画管理部グループマネージャー

が、「従業員20人以下の企業がもっともWLBを進めやすい」との調査結果*もあり、美由喜氏・東レ経営研究所主任研究員)。クレストコンサルティングは従業員18名。中小企業で

WLB推進は中小企業では難しいと言われることもありますが、

社が小さいからこそできるクレストスタイルです」(星さん)とのことでした。

「一人ひとりの声を私達管理グループが聴き取り、社長とともにスピード感を持って柔軟に変えるところは変えていく。会社が変わるところは変えていく。会社が変わるところは変えていく。会社が変わるところは変えていく。」(遠藤さん)と話してくれました。

いってくれて、働きやすい」(目崎さん)、「男女問わず在宅勤務や小学3年までの時短勤務があり、子育てしながら働くモデルに出会えて、自分の将来が描ける」(遠藤さん)と話してくれました。

のWLB推進によって、若者のキャリア選択の幅がさらに広がっていくことを期待したいです。

参加した 学生たちの声



法政大学武石ゼミの学生さん。左から三浦舞夕さん、山本奈緒さん、石塚遥さん

学生たちからは、「残業をせざるを得ない実態を変える熱意と取組の工夫、その実践に驚いた」「育休中の社員の仕事を分担したら他の社員から不満が出るかと思ったが、その分、派遣社員など補充メンバーを確保していて驚いた」「就活では聞くことのできない働く人の現場の話や本音を率直に話してもらえてよかった」などの感想が出されました。

武石先生からも「大学の授業では得られない企業独自の工夫や生の声を聴かせてもらい、学生たち自身がキャリアプランを考えていくようになるのでは」と話していました。



(株)クレストコンサルティングの若手社員。左から遠藤菜理さん(H27年入社)、目崎有理さん(H29年入社)

取組例

在宅勤務の社員とやり取りする様子(上右)。スケジュール管理や作業の進捗等を共有するグループウェアでのパソコン上の画面(上左、下)。



三井住友海上火災保険株式会社



三井住友海上火災保険の社員からお話を伺う学生たち

多様性を活かすことが
女性の活躍やすべての人の
働きやすさに！



笠原直子さん
人事部企画チーム課長

学生たちの企業訪問の第2弾は、三井住友海上火災保険株式会社です。日本有数の保険会社として、人種や性別、年齢など個人の属性や価値観にとらわれず、多様性の尊重を経営方針に掲げています。経営トップが強力にメッセージを発信し、女性の活躍や仕事と家庭の両立支援、働き方改革による社内取組も進み、平成29年度東京都女性活躍推進大賞*を受賞しています。

「多様性を尊重するための意識を変える研修と多様性を活かす環境整備を両軸として進めてきました」と人事部の笠原さんから説明を受けました。

意識改革の面では、性別や年齢に関する自分の無意識の偏見に気づき、それをコントロールするためのeラーニングや研修を実施。特に女性向けの研修に力を入れており、新任課長代理を対象に管理職をめざす意識醸成を目的にした「MS**女性マインドアップスクール」、管理職候補を対象に管理職を担えるマインド・スキルを学ぶ「MS女性リーダースクール」、課長

平成29年度

東京都女性活躍推進大賞受賞

三井住友海上火災保険株式会社

全社員の総活躍を支援

◇事業内容 損害保険業

◇取組と効果

●女性社員を対象に管理職候補の階層ごとの人財育成体系を整備。

〈女性管理職の増加〉

H 25年 **90**名 ▶ H 30年 **317**名

●事例集やノウハウを掲載した専用サイト「女性社員営業力強化～いきいきワーク～」を構築。

〈営業担当の女性比率の増加〉

H 27年 **23.5%** ▶ H 29年 **32.1%**

●「ワーキングママ支援プログラム」等によるサポート、育休中に在宅で定型業務ができる「MSクラウドソーシング」導入。

〈出産後就業継続率の向上〉

H 26年 **92.9%** ▶ H 28年 **97.8%**

意識と環境の両輪を変える

*管理職への女性の登用や職域拡大、能力に応じた多様な働き方の推進など、女性の活躍を推進する企業・個人に授与される東京都（生活文化局）の賞。
**三井住友の略



添野夏実さん
人事部人事チーム、H29
年入社



鈴木達朗さん
人事部採用チーム、H30
年入社

職を対象により高いレベルで組織マネジメントを学ぶ「MS女性アカデミー」と、階層別の研修を実施しています。「意識を変えることが行動を変えることにつながっている。宿泊研修もあり、全国から女性社員が参加し刺激し合うことでネットワーキングもできた。結果、女性管理職はこの5年で3.5倍になった」と話します。

育休中でも自宅でも業務

多様な働き方を支援する環境も整備されています。育児休業後の復職に向けた情報提供などのサポートの他、平成30年度からは育休中でも自宅でも臨時の業務ができる「MSクラウドソー



保坂宇衣さん
人事部採用チーム課長
代理

シング」も実施。育休中の希望する社員を対象に、月50時間を限度に業務を依頼し、業務を通して会社とつながることです。また、働き方改革の一環として男女共に「退社時間宣言ツール」を使い、退社時間や働く時間を「見える化」し、仕事の段取りやタイムマネジメントを進めています。さらに、社外でも通信できるPCを使った「在宅勤務制度」も実施。平成29年度はのべ2,600人の社員が利用しました。

自分事としての これからの働き方を

説明を受けた学生から、「職場に退社宣言ツールがあれば、育児中の時短の社員も気兼ねなく帰れそう」との感想がでると、「すべての人の働き方がわかり、職場のコミュニケーションがさらにスムーズになりました」(保

坂さん)とのこと。

また「企業情報だけではわからないことが多い。これからの自分の人生・仕事の軸をはっきりさせることが大事」(鈴木さん)「プライベートな時間も大切にしたいと思いここを選んだ。發揮したいと思いいここを選んだ。活躍する女性のモデルが身近にいてよかった」(添野さん)など、学生の一步先を行く先輩からのアドバイスに学生たちがうなずいていました。

女性の力を活かすことが、実は男性も含めた社員全員の働きやすさ、個人の成長・活躍につながります。企業の取組を知ること、学生たちが自分らしい働き方について考えを深めるきっかけになればと思います。

参加した 学生たちの声



法政大学3年の吉岡美咲さん(右)と金井烈さん(左)

学生たちからは、「企業の取組が自分たちの想像以上に進んでいて驚いた」「MIWの取材に同行したことで、授業や就活では知ることのできない女性活躍の現状を知ることができてよかった」との声が聞かれました。同行した武石先生からは「女性活躍や働き方改革について、学生たちの興味・関心がどんどん引き出されて自分事になっていっている」との感想が出されました。

取組例



「MSクラウドソーシング」制度により育休中に在宅で仕事をする女性社員

出産6ヶ月以降で希望する社員が対象。所属部署がデータ作成や点検/登録業務等のPC作業を依頼します。平日のみ1日5時間以内月50時間を限度に成果給を支給。労働時間帯は8時~22時。

退社時間宣言ツールを使う社員
[17:00][17:30]ーデスクに立つその日の退社時間。それにより、時短で働く社員も気兼ねせずに退社でき、働く時間も「見える化」され、仕事の依頼や会議時間の調整もしやすくなりました。



パパたちの子育てinちよだ

パパたちの子育ての現状や地域の支援はどうなっているのでしょうか？ 千代田区で実施されているパパたちのしゃべり場や子育てサロンに伺い、パパたちの声を聞いてみました。

「あい・ぽーと」麹町 まちプロタイム&パパと語ろう・ママはカフェタイム

パパたちのしゃべり場

現役パパとシニア男性の出会いの場

1月土曜日の午後、子育てひろば「あい・ぽーと」麹町には、子どもたちの歓声が響いていました。子育て・まちづくり支援プロデューサー（まちプロ）*たちによる「まちプロタイム」の時間です。読み聞かせやダンスを、親子で楽しめます。これが



まちプロタイムの風景

終わると、パパ同士/男同士のしゃべり場「パパと語ろう」が始まります。進行役は、大先輩のシニア男性まちプロです。

初対面の男同士で盛り上がり

現役パパたちは皆、お子さんたちを抱っこし、車座になって座ります。全員が初対面とあって、最初の会話は恐る恐るといった感じでしたが、まちプロたちが「かつて自分たちはモータリョウマンでほとんど家にいなかった。今になって、もっと子育てしていたらよかった」と実感を含めて話し始めると、

現役パパたちもそれぞれに思いや悩みを話し出し、終了予定時間を過ぎるほど、盛り上がりましました。

「会社関係以外で、子育てについて話せるパパたちと出会いたいと思って」「パパ同士で情報交換をしてみたい」とパパたちの参加の動機も様々。

「平日は朝ごはんを作って、保育園へ子どもを送り、土日は主に自分が子どもの面倒をみている」と一人のパパが話すと、まちプロが「退職後、妻に料理を習って、今では夜ごはん作りは自分の当番。料理はできた方がいいよ」と応えます。

ベテランパパの話

「10か月の娘が夜、興奮して寝付かない。どうしたらいいのか」との質問が出ると、「そうそう、眠ったと思って布団に寝かすとまた起きて…」と相槌を打つパパたち。子育て3人目のベテランパパが「2歳ぐらいになると落ち着くから大丈夫。後になると、しんどいことは忘れちゃうよ」と話します。その言葉を聞いて、パパたちはほっとした様子でした。

「離乳食を始めるとアレレギーが心配だから、卵や小麦を食べさせるのは昼間がいいよ。何かあっても病院が開いているから」と、先輩パパのアドバイスに全員がうなずいていました。

「パパたちの生の情報交換の場になってとても助かる」「家族だけだと子育てが偏ってしまう気がして、いろいろなパパと出会えていいですね」と参加したパパは話していました。

「子育てひろばにパパが入りにくいかもしれないけれど、まず



「パパと語ろう」の風景。この時ママはカフェタイム

◆まちプロタイム&パパと語ろう・ママはカフェタイム
in 子育てひろば「あい・ぽーと」麹町
土曜に月に1回程度 15:30～16:30 TEL.3556-8471
詳細は「あい・ぽーと」麹町 HP: <https://www.ai-port.jp/>



「あい・ぽーと」麹町のまちプロのお2人。左から渡辺義巳さん、宮内謙吾さん

*まちプロ：子育て・まちづくり支援プロデューサー。退職前後のシニア男性が「あい・ぽーと」ステーションの養成講座を受講後、認定資格を得て、子育てを核とした「まちづくり」の現場で職業経験やパワーを生かして活躍。

は1階のカフェに気軽に来てほしい」と、そこでコーヒーを淹れているまちプロはパパの参加を待っているとのこと。千

千代田区社会福祉協議会 子育てサロン

地域で支えるパパの子育て 忙しくても参加したい子育てサロン

土曜の午前の子育てサロン

「ばよかった」と残念がっていました。

昨年12月の土曜日、神田公園

また、自宅から

区民会館で子育てサロンが開かれました。絵本の読み聞かせ、サンタさんとの交流、工作等、親子で楽しめるイベントが盛りだくさん。参加されたパパたちに子育てについて伺いました。

「子どものおむつ替えやミルクを飲ませています。食事作りはどちらかというと僕の役割」と、11か月の娘さんを抱っこしながら話す柴田朝彦さん(30代、会社員)。「独身時代は一人暮らしで家事は自分でしていたので、結婚しても当然、家事と育児は夫婦2人でするものだと思います」とはいえ、仕事も忙しく「今思えば育児休暇を取ら

代田のまちのパパたちのしゃべり場に、一度、立ち寄ってみませんか?

歩いて10分の職場で働く1歳2か月の娘さんのパパ(30代)は、会社の共同経営者。帰宅は毎日早くて夜11時。「子育てしたい気持ちがあるけど、正直、疲れ過ぎて…」とのことでした。2歳と0歳の2人のお子さんのパパ(30代、会社員)も、「かわいしいし、子育てするのは当たり前だけど、平日帰宅



この日の子育てサロンに参加していた上智大学の子育て支援サークルの皆さん。左端が代表の音田さん



子育てサロンの会場風景

はほぼ夜11時。どうすればもっと子育てできるか試行錯誤しています」とのことでした。

地域が支える子育てサロン

子育てサロンは千代田区社会福祉協議会の主催です。「子育てサロンは、学生や地域の方々、企業のCSRの協力で実現しています。リピーターになるパパたちも多く、パパたち・ママたちの居場所となっているのは」と担当者の新元さんは話しています。

子育てサロンの工作コーナーや受付を担当しているのは、上智大学子育て支援サークル「HePaJaP」の皆さん。法学部、理工

柴田朝彦さんと娘さん



担当者の新元俊輔さん(千代田区社会福祉協議会)



◆子育てサロン in 神田公園区民館

月1回、隔月で水曜14~16時、土曜10~12時
TEL.3265-1901 詳細は、千代田区社会福祉協議会 HP
<https://www.chiyoda-cosw.or.jp/topics/>

学部、看護学部と学部も様々、男性メンバーもいます。代表の音田夏葵さんは「この活動に関わるまで子育てサロンの存在を全く知りませんでした。将来、子どもができたら絶対にここにきたい」と話していました。

昨年度(平成29年度)の男性の育休取得率は5.14%(厚労省調査)と上昇しましたが、取得日数は1~2日がほとんど。育児のための休暇とは遠いものです。また、働き盛りの男性の約6人に1人(30代15.0%、40代15.4%)が週60時間以上の長時間労働で、6歳未満の子を持つ夫の育児時間は1日当たり49分(妻は3時間45分)。先進国中最低の水準にとどまっています。男性がもっと子育てに関われるように、地域では子育ての場を広げ、MIWでも働き方や家事シェア、企業のWLB(ワークライフ・バランス)推進の講座等で応援しています。

色に込められた思いや願いを知っていますか？

◆ アウェアネス・リボン ◆

MIWで毎年実施しているパープルリボン・プロジェクト。紫色のリボンを身に着けることで、暴力のない世界の実現に賛同し、支援する気持ちを表します。このようなリボンを、「アウェアネス（意識・気づき）・リボン」と呼び、リボンを使ってメッセージを発信する運動が世界中で展開されています。パープルリボンの他にもさまざまな色のアウェアネス・リボンがあります。それぞれに込められた思いを知り、みなさんも、活動の支援者になりませんか。



パープルリボン DV・暴力の根絶

アメリカの小さな町で性暴力の被害者によって始められたと言われています。「あなたは一人ではないよ」という寄り添いの気持ちが込められています。

ホワイトリボン
もあります

「男性」が主体となって女性に対する暴力撲滅に取り組む、カナダ発祥のキャンペーンで、現在 50 カ国以上に広がっています。

千代田区の活動

MIW パープルリボン・プロジェクト (11月)

街頭キャンペーンや、区民がつくったリボンをつりに飾っています。今年度はラン&ウォークも実施しました (p11)。



オレンジリボン 子どもの虐待防止

平成 16 年に起きた痛ましい虐待事件が、日本でのオレンジリボン運動の起源となりました。オレンジ色は、子どもたちの明るい未来を表しています。

千代田区の活動

千代田区オレンジリボンキャンペーン (11月) ～みんなで守ろう！千代田っこの笑顔～

街頭キャンペーン、虐待防止講演会、千代田区子育て応援見守り隊等を実施し、まちぐるみで子育てを応援しています。



ピンクリボン 乳がんの早期発見・ 早期治療

北米発の世界共通のシンボルマークで、乳がんで亡くなった女性の家族の「同じ悲しみを繰り返さない」との願いが込められていると言われています。

千代田区の活動

乳がん触診モデル体験会

乳がんの「しこり」を触って体験できる模型を使い、自己検診方法を学べる体験会を、毎年 3 月の「女性の健康週間」などに合わせて実施しています。



リボン以外にも色に シンボリックな意味を持たせた 運動が展開されています

6色のレインボーカラーには、LGBTs* 支援の意味があります。1978年、ゲイの人権活動家ハーヴェイ・ミルクたちによって、性的マイノリティの誇りのシンボルとしてレインボーフラッグが生まれました。「フラッグ」だけでなく様々な形でアピールされています。



MIWのマスコットキャラクターみゅうじろうとレインボー風船。昨年のレインボーパレードで(東京・渋谷)

LGBTs 相談を始めます

4月から性自認や性的指向に関する相談を始めます。事前予約制・無料です。

- 日時 毎月第2木曜日 16時30分～19時30分
- 場所 男女共同参画センターMIW相談室
- 対象 在住・在勤・在学の方
- 予約 国際平和・男女平等人権課へ
TEL 5211-4166 FAX 3264-1466
Eメール kokusaidanjo@city.chiyoda.lg.jp

* LGBTs とは | L: レズビアン (女性同性愛者)、G: ゲイ (男性同性愛者)、B: バイセクシュアル (両性愛者)、T: トランスジェンダー (心と体の性が一致しない人) の頭文字と、それ以外の多様な性の存在を s で表しています。

第6回 MIW祭り & MIW開設20周年記念イベント

MIW祭り オープニング

大妻女子大学書道部の
皆さん



迫力ある書道パフォーマンス

書道パフォーマンス



平成10年に開設したMIWは昨年20周年を迎えました。10月5日～6日には、記念イベントと第6回MIW祭りを実施しました。記念講演会やMIWで活動する登録団体の活動紹介を通して、地域の皆様とともに「男女共同参画」を身近に感じ、楽しみました。

MIW開設20周年記念イベント

■ 記念講演会
池田理代子さん
(劇作家)



池田さんの講演「私とオスカルが切り拓いたもの」の会場風景。左は聞き手の松尾紀子さん(元フジテレビアナウンサー)



MIW祭りのテーマ

**ひろげよう！
ハピネス！**
～はたちの夢
どこまでも～



MIW祭り初のボッチャ体験コーナー

今回新たに始まった区内大学生たちによる「地域交流ブース」



MIW登録団体の皆様の活動紹介風景



登録団体のパネルがずらり

MIW開設20周年記念 ラン&ウォーク

非暴力のシンボルカラーである紫色のMIWオリジナルTシャツを着て、皇居の周りを走り・歩きました。



桜田門前広場でのスタート風景



家族一緒に歩きます

皇居の周りを走ります



仲間と一緒にゴールの瞬間！



■ 情報交流会 MIW 千夜一夜 第101夜

学生が描くキャリアデザイン (P4～7 に関連記事)

■ 平成30年12月5日(水)

■ ファシリテーター: 武石恵美子さん(法政大学教授)、松浦民恵さん(法政大学准教授)

■ ゲスト: 法政大学キャリアデザイン学部武石ゼミ・松浦ゼミの皆さん、保坂宇衣さん(三井住友海上火災保険)、星めぐみさん(クレストコンサルティング)

▼ご登壇頂いた皆様

大学生が描く未来志向のワーク・ライフ・バランスについての発表と企業の方からの先進的取組紹介、会場との意見交換を実施。



■ MIW 講座 パパたち集合!家事シェアで、家族が笑顔に

■ 平成30年11月30日(金)

■ 講師: 三木智有さん(NPO 法人 tadaima! 代表)

ご自身の経験をもとに家族が楽しく取組める家事シェアについてのお話。

▶講師の三木さん



■ MIW 講座

来年度から始まる千代田区女性史編纂プロジェクト関連で3つの講座を実施しました。

女性ジャーナリストにみる今昔物語

■ 平成30年10月17日(水)

■ 講師: 江刺昭子さん(女性史研究者)



▲講師の江刺さん

平塚らいてうの生き方

■ 平成30年11月21日(水)

■ 講師: 森まゆみさん(作家)



▲講師の森さん

世界に一つだけの ZINE づくり

■ 平成31年1月19日(土)

■ 講師: 岡泰司さん(アートディレクター)



▶講師の岡さん

▼作った ZINE

▼ ZINE づくりの会場風景



MIW 相談室

MIW の相談室では、夫婦関係、男女の生き方・働き方、性に関すること、セクシュアル・ハラスメントや夫婦や親密な間柄での暴力などについて相談を受けています。事前予約制・無料です(区内在住、在勤、在学の方対象)。まずはお電話ください。

☎ 03-5211-4316 託児サービス(有料)があります。

◆相談日時

(英)=英語での相談もできます。

火曜日
毎週 16:30～20:30

法律相談(女性のみ)
第2 13:00～15:30

水曜日
第1・3・5 10:30～15:30
第2・4 16:30～20:30

◆平成31年4月から第2木曜日にLGBTs相談を始めます。詳細はP10で。

木曜日

第1・3・5 16:30～20:30
第2・4 10:30～15:30

金曜日

第1・3・5 10:30～15:30(英)
第2・4 16:30～20:30(英)

土曜日

第1・3・5 10:30～15:30
第2・4 10:30～15:30(英)

MIW インフォメーション

MIW 講座

女性のための心のメンテナンス講座

日時: 4月17日(水) 18:30～20:00

会場: MIW 交流サロン(区役所10階)

講師: 西山さつきさん(NPO法人レジリエンス代表)

対象: 女性25名(申込順/在住・在勤・在学優先)

◆申込はMIWまで

ビデオサロン&カフェ

天使のいる図書館

日時: 4月19日(金) ①14:30～②18:30～

会場: MIW 交流サロン

美しい自然に囲まれた神話の里・奈良県葛城地域の図書館司書さくら。図書館を訪れた老婦人の探し物を手伝ううちに、地域の歴史や文化を再発見する。かたくなだったさくらは次第に周囲と溶け込み、自身も成長していく。

◆当日、直接会場へ/毎回終了後、カフェあり

千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)



所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩5分
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時 土曜日 午前9時～午後5時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
Eメール miw@city.chiyoda.tokyo.jp Facebook @chiyoda.miw
URL http://www.city.chiyoda.lg.jp (「暮らし・手続き」▶「男女平等・人権」▶男女共同参画センター MIW からお入りください)

■ 編集後記

いつもMIW通信をご覧いただきありがとうございます。平成も残りわずかとなってきました。新元号も間もなく発表されますね。千代田区男女共同参画センターMIWは、昨年、開設20周年記念イベントを開催しましたが、引き続き皆様にご参加いただける講座、イベントを開催していきます。どうぞご注目ください♪ (R)